

技術評価認定書

評価認定対象技術： **クロスウェーブ工法**
(CW-HD,CW-S,CW-Ne,CW-NS)

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（1996年6月1日施行）に
基づき審査した結果、上記技術を総合治水対策及び水循環
再生等に寄与する技術と認め、下記のとおり評価認定する。

2024年 4 月 1日

公益社団法人雨水貯留浸透技術協会

会

長

佐藤 直良

記

1. 評価認定結果

- (1) 雨水の流出抑制及び雨水利用施設として必要とされる機能を有すると認められる。
- (2) 実用上必要な強度、耐久性を有すると認められる。
- (3) レベル2に相当する地震動において必要な耐震性能を有していると認められる。
- (4) 軽量であり運搬、施工が容易であると認められる。
- (5) 施設の維持管理が容易に行えると認められる。
- (6) 環境への負荷が少ないものと認められる。

2. 評価認定の前提

- (1) 提出された資料には事実に反した記載がないものとする。
- (2) 本認定に使用する材料は、適正な品質管理のもとで製造されたものとする。
- (3) 本認定の施工は、標準施工要領に従い適正な施工管理のもとに行われるものである。
- (4) 本審査は、「プラスチック製地下貯留浸透施設技術指針（案）【平成30年度改定版】」（公益社団法人雨水貯留浸透技術協会）に定める規定に準拠したものである。

3. 付帯事項

当クロスウェーブ工法での貯留構造体CW-HD、CW-Ne、CW-NS使用時の最大槽幅については、貯留構造体CW-HA、CW-HD、CW-S、CW-Ne、CW-NSのせん断試験結果(最大せん断応力および最大せん断ひずみ)ならびに貯留構造体CW-HA、CW-Sの正負交番載荷試験および地震応答解析の結果を比較し、強度面での安全を考慮した上で、暫定的にCW-HA使用時の最大槽幅を代用することを認める。今後、CW-Ne、CW-NSにおいては、正負交番載荷試験および地震応答解析を行い、最大槽幅の再確認を行うこととする。

4. 評価認定有効期間

自 2024年 4 月 1日 至 2029年 3 月 31日

5. 申請者

積水化学工業株式会社

住所 東京都港区虎ノ門2丁目10番4号